

現場見学会

田布施農業高等学校／環境土木科



なぜその事業が必要か。 建設業の意義がしっかりと見えでくる。

建設業への理解を深めてもらおうと、山口県建設業協会では山口県土木建築部の協力を得て、毎年高校生を対象に「建設現場見学会」を行っています。今年も田布施農業高等学校の現場見学会取材しました。

参加したのは同校の環境土木科1年生40名。朝からあいにくの梅雨空が広がり、生徒はカッパや傘をさして、最初の見学地・黒杭川上流ダム建設現場に降り立ちました。柳井市北部に建設中の黒杭川上流ダムは、近年頻発している集中豪雨や洪水への対応、また用水の確保を目的に既設の黒杭川ダムの上流に建設されているもので、平成22年秋完成予定の重力式コンクリートダムです。生徒の皆さんは7〜8名のグループに分かれ、コンクリート製造設備や濁水処理設備など、説明を受けながら現場をぐるりと巡りました。

巨大なタワークレーンや、間近で見るダムの深さに生徒達は目を見張ります。また、工事で発生する濁水を浄化する濁水処理設備では、ヘドロを固めた脱水ケーキを興味津々に触っていました。川が流れていた場所にダムを作っているの、水路を横につくり転流させているという話を聞いて「川魚たちも通れるの?」と熱心に質問

も飛んでいました。

その後、再びバスに乗り込み、今度は柳井市と周防大島町間の大島瀬戸に架かる大島大橋へ。昭和51年に完成した大島大橋は、23年目を迎えた平成11年より耐震補強工事・大規模補修工事に着手しています。「大島大橋を100年以上使うために、新しい技術で耐久性を確保する」との言葉に、建設業は新しく造るばかりでなく、維持していくという面でも大切な役割を担っているのだということを改めて感じました。

午後からは、最後の見学地・柳井市古開作雨水ポンプ場建設現場へ。海に面している柳井市では、台風などによる高潮被害を防止するために、防潮水門をつくり、川の水を排水するためのポンプ場を柳井川、土穂石川の2カ所に設置しています。この柳井川古開作ポンプ場に、さらにポンプを新設、追加することで、排水機能をアップさせ、雨水による浸水を防止します。大雨や高潮など、いつ何時起こるか分からない災害からまちを守る事業。ちょうど雨が降る中の見学で、生徒の皆さんも自然と真剣な表情で現場を見つめています。



見学を終えた後、生徒に感想を伺うと「作業を見てその迫力に驚いたのはもちろんだけど、なぜその建築物が必要になったのかという、歴史の話が聞けてとてもためになった。学校で学びたいという意欲が湧きました。」「まだ授業が始まったばかりだし、色々と難しいことも多かったけど、やってみたいことや興味が出てきた。これからの勉強にも役立つと思います。」と建設業に対する意欲がわいた様子。



中島寛先生

2008年度 高校生現場見学 参加校 (11校 353名)

■土木系学科

工事名(施工地)	実施日	対象生徒	学校名・学年
小郡萩道路【国道490号】(美東町大田)	5月30日	24名	下関中央工業高等学校・2年生
山口宇部線道路改築事業(山口市朝田)	6月10日	34名	萩商工高等学校・2,3年生
	6月10日	40名	岩国工業高等学校・1年生
真綿川ダム(宇部市東川上)	6月10日	34名	徳山商工高等学校・2,3年生
宇部湾岸線街路事業(宇部市妻崎開作)	6月19日	40名	田布施農業高等学校・1年
沢波川周防高潮事業(宇部市床波)			
黒杭川上流ダム(柳井市黒杭)	8月4日	10名	宇部西高等学校・2年生
雨水ポンプ場建設工事(柳井市南浜)	8月22日	40名	山口農業高等学校・1年生
大島大橋橋梁補修(周防大島町)			
合計	7校	222名	

■建築系学科

工事名(施工地)	実施日	対象生徒	学校名・学年
旗岡県営住宅新築工事(下松市)	5月29日	34名	下関中央工業高等学校・2年生
	6月10日	40名	岩国工業高等学校・2年生
山口県立こころの医療センター外来棟新築工事(宇部市)	6月10日	33名	萩商工高等学校・2,3年生
	6月17日	24名	柳井商工高等学校・3年生
合計	4校	131名	